

HD-SDI 6 入カスイッチャー
SE-1200MU 専用コントローラー

RMC-260



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

サポート窓口	3
内容物	4
概要	4
特長	4
各部の名称と機能	5
フロントパネル キーボード	5
ユーザーメモリー、ワイプトランジションの選択	5
リアパネル(コネクター)	6
キーボード操作部	7
ユーザーメモリー、ワイプトランジションの選択	7
プログラムソース選択	8
XPT(クロスポイント)機能	9
キーヤー/ダウンストリームキー(DSK) (プログラム用)	9
プレビューソース選択	10
キャプチャーした画像の保存	10
背景画像のトランジション	11
キーヤー/ダウンストリームキー(DSK) (プレビュー用)	11
トランジションエフェクト	12
キーヤー割当てボタン	13
キーヤー調整/メニュー操作	13
OSD メニュー	14
Start	14
Transition	14
Wipe Effects	15
Border	15
Position	15
Matte	15
Keyer(キーヤー)	16
Keyer Control キーヤーコントロール	16
Key Source(キーソース)	17
Fill Source(フィルソース)	17
Mask(マスク)	17
Chroma(クロマ)	17
Keyer(キーヤー)	17
CK Setup(クロマキーの設定)	18
Mask(マスク)	18
P-in-P(ピクチャーインピクチャー)	19
Position(位置)	19
Border(ボーダー)	19
Border Width(ボーダーの幅)	19
Crop クロップ(切抜き)	19
P-in-P Lite(ピクチャーインピクチャーライト)	20
Position(位置)	20
Border(ボーダー)	20
Border Width ボーダーの幅	20
Crop クロップ(切抜き)	20
Inputs(入力)	21
Input 1-4 入力 1-4	21
Freeze(フリーズ)	22
Crosspoint(クロスポイント)	22

Outputs(出力).....	22
Outputs(出力).....	23
Audio(音声).....	23
GPI Out (GPI 出力).....	23
Multiviewer(マルチビューワー).....	24
Stills スチル(静止画像).....	24
Load Still(スチル(静止画像)の読込).....	25
Save Still(スチル(静止画像)の保存).....	25
Freeze(フリーズ).....	25
User Mems(ユーザーメモリー).....	26
Load Memory(メモリから読込).....	26
Save Memory(メモリへ保存).....	26
Load Clip(クリップを読込).....	26
Clear Clip(クリップをクリア).....	26
Setup(設定).....	27
Menu Preference(メニュー属性).....	27
Standard(映像フォーマット).....	27
Menu Mode(メニューモード).....	28
Auto Save(自動保存).....	28
Factory Default(工場出荷時の初期値).....	28
Reset Names(名前の初期化).....	28
Language(言語).....	28
Software(ソフトウェア).....	28
設定／デバッグモード.....	29
設定／デバッグモードの開始.....	29
設定／デバッグモード機能の選択.....	30
USER 1 - バージョン情報の表示.....	31
USER 2 - LED の輝度の調整と保存.....	32
USER 3 - ボタンの機能検査.....	32
USER 4 - Tバーとプッシュノブの機能検査.....	33
USER 5 - 設定／デバッグモードの終了.....	33
RS-232 のピンアサイン.....	34
ピン出力.....	34
ケーブルの接続.....	34
ファームウェアの更新.....	35
よくあるお問合わせ.....	36
外形寸法.....	36
仕様.....	37

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL: 045-415-0203 FAX: 045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品名	数量
1	RMC-260 (本体)	1
2	AC/DC 変換アダプタ DC12V 0.5A	1
3	RMC-260 - SE-1200MU 接続用 D-Sub 9pin - D-Sub9pin ケーブル	1
4	取扱説明書 (本書)	1

概要

RMC-260 はデジタルビデオスイッチャーSE-1200MU 用に設計されたコストパフォーマンスに優れたコントロールパネルです。RMC-260 は RS-232 インターフェースを介して SE-1200MU に接続します。

RMC-260 は従来のスイッチャースタイルのコントロールパネルです。SE-1200MU のスイッチャーの機能にハードウェアキーを使って簡単にすばやく操作できるよう設計されています。また、画面に表示されるメニューにより、現場でもすばやく簡単に設定値を変更できます。

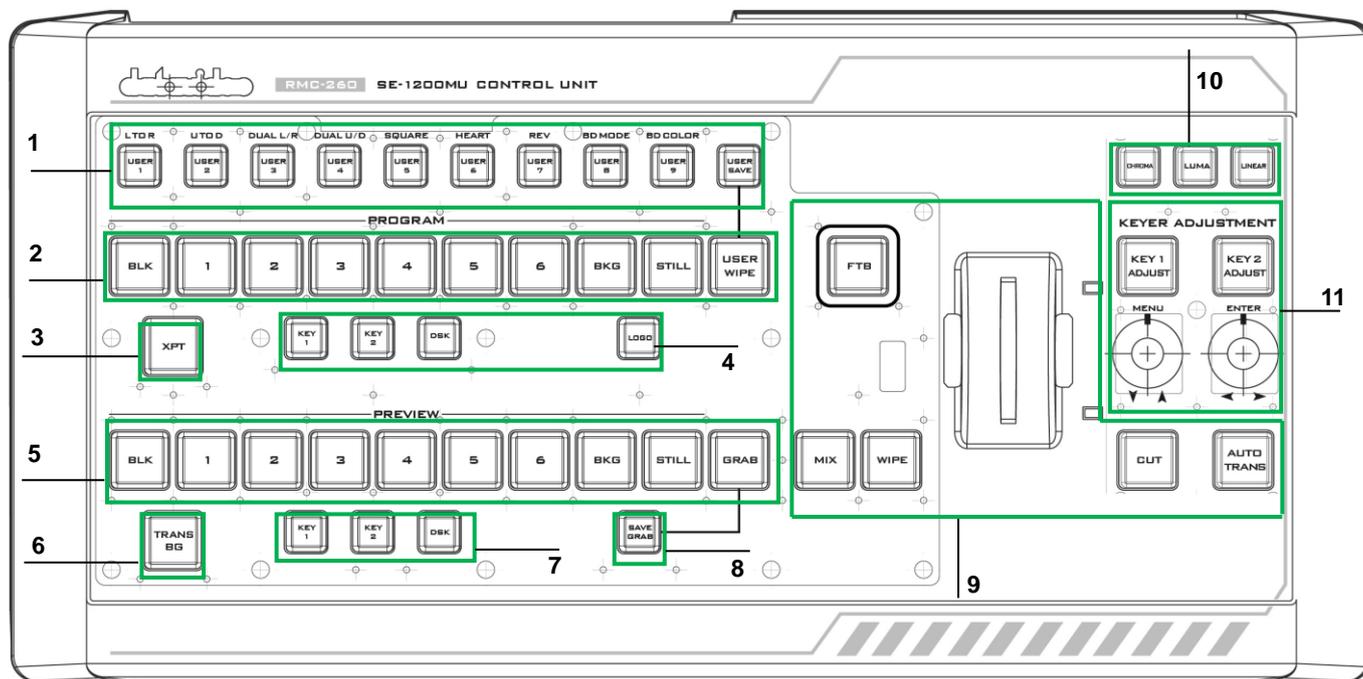
SE-1200MU は RMC-260 単体でもご使用いただけますが、ユーザーメモリー、スチル、クリップの読み込み／書き出しや、SE-1200MU 本体ファームウェアの更新には PC から操作するための専用ソフトウェアを使用します。

特長

- SE-1200MU 操作用のコントロールパネル
- わかりやすいボタン配列
- Keyer のオン／オフや迅速な機能の割当てをハードウェアボタンで操作可
- ユーザーメモリーボタンに機能を登録しすばやくアクセス
- Keyer 1/ Keyer 2 の各ソースに対応した 2 個の専用操作ノブ付き
- 入力ソースのクロスポイント設定
- プレビュー画面とプログラム画面を瞬時に切替える Cut ボタン
- プログラム画面を黒い画面にフェードアウトする FTB ボタン
- 動画を瞬時に静止画にするスチルキャプチャー機能
- RMC-260 と SE-1200MU 間での通信用 RS-232 インターフェース
- 明るい LED キー照明

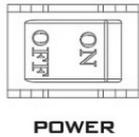
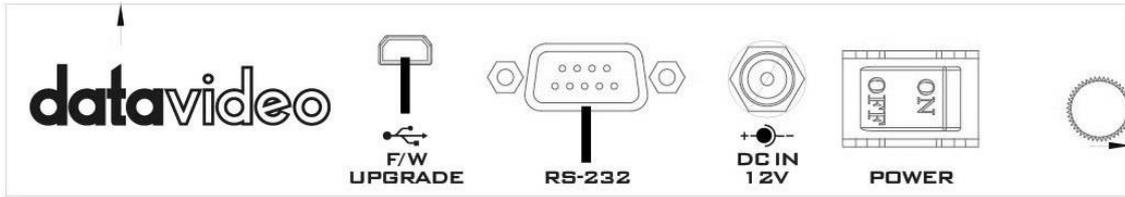
各部の名称と機能

フロントパネル キーボード



1	ユーザーメモリー、ワイプトランジションの選択	7	キーヤー／ダウンストリームキー (DSK) (プレビュー用)
2	プログラムソース選択	8	キャプチャーした画像の保存
3	XPT(クロスポイント)機能	9	トランジションエフェクト
4	キーヤー／ダウンストリームキー (DSK) (プログラム用)	10	キーヤー割当てボタン
5	プレビューソース選択	11	キーヤー調整／メニュー操作
6	背景画像のトランジション		

リアパネル(コネクター)



電源スイッチ

電源のオンとオフを切替えます。



DC 電源入力ソケット

付属の 12VAC アダプタをこのソケットに接続します。DC 入力プラグの外側のリングねじを締めてソケットに固定します。



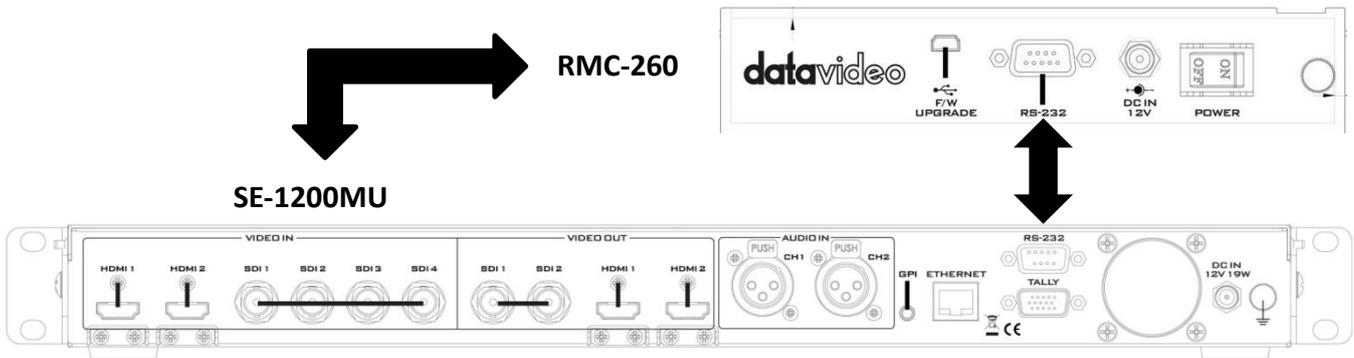
USB ファームウェアの更新

ファームウェアを更新する時に PC と接続します。



RS-232 インターフェース

RMC-260 と SE-1200MU 間の通信用の RS-232 インターフェースです。詳細については 34 ページをご参照ください。



キーボード操作部

ユーザーメモリー、ワイプトランジションの選択



User1- User9(ユーザーメモリーボタン 1~ユーザーメモリーボタン 9): ユーザーボタンは前に保存したユーザーメモリーの設定値を読み出すためのショートカットキーです。直前に保存したスイッチャーの設定を呼出すことができます。



USER SAVE(ユーザーメモリーの保存)

このボタンを押すと、ユーザーが定義した設定を保存するためにユーザーメモリーボタンからユーザーメモリー番号を選択できます。

USER SAVEボタンを押すと、USER SAVEボタンのLEDが点灯し、USER 1- USER 9ボタンが点滅します。USER 1- USER 9ボタンのうちいずれかのボタンを押すと、押したボタン以外のLEDは消灯します(USER SAVEボタンは点灯したままです)。ユーザーの設定が保存が完了すると、選択されているUSERボタンとUSER SAVEボタンは消灯します。

USER SAVEボタンとUSER WIPEボタンが消灯しているときに、USER 1- USER 9ボタンの1つを押すことによって、押したボタンに保存してある設定値を読み込むことができます。

USER SAVEボタンとUSER WIPEボタンが両方点灯しているときには、USER SAVEボタンがUSER WIPEボタンより優先されます。

ワイプトランジションの選択: ワイプトランジションは 6 種類あります。各トランジションの詳細を下表に記載します。



L TOR

L TO R(左から右)

左から右へワイプ。



DUAL U/D

DUAL U/D(上下両側)

上下両端から中央へワイプ。



U TO D

U TO D(上から下)

上から下へワイプ。



SQUARE

SQUARE(矩形)

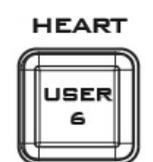
矩形のワイプ。画面の中心から4隅へ広がります。



DUAL L/R

DUAL L/R(左右両側)

左右両端から中央へワイプ。



HEART

HEART(ハート)

ハート形のワイプ。中心から外側に広がります。



REV(リバース)

REVボタンが点灯している場合、選択したワイプの方向は逆になります。

お望みのワイプトランジションを選択した後、BD MODE ボタンを押してワイプのボーダーの幅を設定できます。また、BD COLOR ボタンを押してボーダーの色を設定できます。

BD MODE



BD MODE(ボーダーモード)

ボーダーの幅を増減します。

BD COLOR



BD COLOR(ボーダーカラー)

ボーダーの色を選択します。

プログラムソース選択

プログラムの各ボタンはプログラム出力用です。選択したボタンがライブ出力となります。各ボタンを押すと出力されているビデオソースから別のビデオソースに直接切替えることができます。選択されているキー以外のいずれかのキーを押したときにプログラム出力が切替わります。



1 ボタン～6 ボタン:映像ソースを選択するボタンです。

BLK ボタン:プログラム出力の画面全体が黒くなります。

BKG ボタン:プログラム出力の背景色、または、カラーバーを割当てます。

STILL ボタン: 押すたびに、選択されたプログラム出力がライブ映像、フリーズ、スチル(静止画像)と順番に切り替わります。

注意:現在選択されている映像がフリーズした画像かスチル(静止画像)か判別できない場合は、OSDメニューの Stills から確認してください。

USER WIPE: ボタンを押すたびに、ユーザーメモリー機能とワイプトランジション機能が切替わります。USER WIPE ボタンがオンになるとワイプ機能になります。USER SAVE ボタンと USER WIPE ボタンがオンになっている場合は、USER SAVE ボタンが USER WIPE ボタンより優先されます。

XPT(クロスポイント)機能



PGM XPT(プログラム出力／クロスポイント)

映像ソースとチャンネルの割当はユーザー属性にしたがいます。

1. はじめに XPT ボタンを押します。プログラムとプレビューの全ボタンが点滅します。
2. プログラムの出力ボタンを押すと、押したボタンが赤くなります。
3. プレビューの入力ボタンを押すと、押したボタンが緑色になります。
4. この時点でプレビューの入力がプログラムの対応した出力に割当てられます。
5. プログラムの別の出力ボタンを押すと、割当てを続けます。XPT ボタンを押すと割当は終了します。

(クロスポイントの設定は OSD メニューから設定する事もできます)

キー／ダウンストリームキー(DSK) (プログラム用)



PGM KEY 1(プログラム出力／キー1)

キー1の有効と無効を切替えます。



PGM KEY 2(プログラム出力／キー2)

キー2の有効と無効を切替えます。



PGM DSK (プログラム出力／DSK(ダウンストリームキー))

DSK を押すとロゴやアニメーションがプログラム出力にオーバーレイ表示することができます。プログラム出力に DSK(ダウンストリームキー)を出力する前に、プレビュー出力画面で DSK(ダウンストリームキー)が正しいことを確認してください。



PGM LOGO(プログラム出力／ロゴ)

プレビュー出力にあらかじめ選択したロゴをプログラム出力に表示します。

プレビューソース選択

プレビュー出力を操作するボタンです。プレビューは、選択するソースに該当するキーを押すことによって、次に切替わるプログラム出力ソースを設定します。



1 ボタン～6 ボタン：映像ソースを選択するボタンです。

BLK ボタン：プレビュー出力の画面全体が黒くなります。

BKG ボタン：プレビュー出力の背景色、または、カラーバーを割当てます。

STILL ボタン：押すたびに、選択されたプレビュー出力がライブ映像、フリーズ、スチル（静止画像）と順番に切り替わります。

注意：現在選択されている映像がフリーズした画像かスチル（静止画像）か判別できない場合は、OSDメニューの **Stills** から確認してください。

GRAB ボタン：プログラム出力のフレームを一時的にメモリ上にキャプチャーし、Input 6 にスチルとしてセットします。（この状態では SE-1200MU 本体の電源を切るとスチルは消去されます。保存する場合は **SAVE GRAB** ボタンを使用してください）

キャプチャーした画像の保存



SAVE GRAB（静止画像の保存）

SAVE GRAB ボタンを押すと **GRAB** ボタンで取込んだ静止画像を SE-1200MU 本体に内蔵されている保存用の媒体に保存します。**SAVE GRAB** ボタンにより保存された静止画は、Still の 400 番以降の番号に保存されます。保存した Still の呼び出し方法については、OSDメニューの **Stills** の項をご参照ください。

背景画像のトランジション

TRANS BG(プレビューバスの有効／無効切り替え)

TRANS BGがオンになっている(ボタンLEDが点灯している)時にPREVIEWバスが有効になります。



TRANS BGをオフにする(ボタンLEDが消灯している)時はPREVIEWバスが無効となり、PROGRAMバスのみが有効となります。その場合、MIX、WIPE等のトランジションも無効となります。

TRANS BGがオフになっている時にCUTボタンもしくはAUTO TRANSボタンを押すと、自動的にTRANS BGがオンになります。(この場合、CUT/AUTO TRANSは動作せず、TRANS BGがオンになるだけです。もう一度CUT/AUTO TRANSを押すことでPROGRAMとPREVIEWが切り替わります。)

キーヤー／ダウンストリームキー(DSK) (プレビュー用)



PVW KEY 1(プレビュー出力／キー1)

KEY 1 ボタンを押すと、マルチビューやプレビュー出力のキーヤー1 の有効／無効を切替えます。または、キーヤーの種類を表示します。

ボタンを押したまま、キーヤー選択部(コントロールパネルの概要の図中の10番)の中から設定するキーヤーを選択します。Chroma/Luma/Linear ボタンが点滅したら、設定したいボタンを1回押します。



PVW KEY 2(プレビュー出力／キー2)

KEY 2 ボタンを押すと、マルチビューやプレビュー出力のキーヤー2 の有効／無効を切替えます。また、キーヤーの種類を表示します。

ボタンを押したまま、キーヤー選択部(コントロールパネルの概要の図中の10番)の中から設定するキーヤーを選択します。Chroma/Luma/Linear ボタンが点滅したら、設定したいボタンを1回押します。



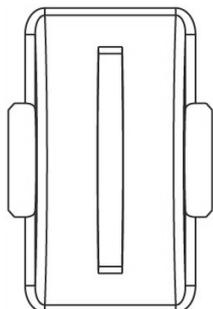
PVW DSK (プログラム出力／DSK(ダウンストリームキー))

DSK ボタンを押すと、マルチビューやプレビュー出力のダウンストリームキーの有効／無効を切替えます。

ボタンを押したまま、キーヤー選択部(コントロールパネルの概要の図中の10番)の中のお望みのキーヤーを選択します。Chroma/Luma/Linear ボタンが点滅したら、お望みのボタンを1回押します。

トランジションエフェクト

トランジション操作(ディゾルブ、または、ワイプ、カットチェンジ)を行うための T バー及びボタンです。トランジション操作を行う事により、プログラムソースとプレビューソースが切り替わります。



T バー

プログラムソースを選択しているプレビューソースに手動で切替えます。T バーを反対側の一番端まで動かしたときにトランジションは完了します。



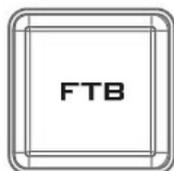
CUT ボタン

CUT ボタンはプログラムソースを選択しているプレビューソースに瞬時に切替える(カットチェンジ)ときに使います。



AUTO TRANS ボタン

手動で切替えを操作する T バーの代わりに Auto TRANS ボタンを使用します。設定されている時間でプログラムソースを選択しているプレビューソースに切替えます。



FTB (Fade To Black)

黒画面にフェードアウト。このボタンはビデオソースを黒い画面にフェードアウトします。再度、ボタンを押すと、黒い画面から選択されているプログラムソースにフェードインします。



MIX ボタン

選択されているプログラムソースとプレビューソースをディゾルブで切替える時に MIX ボタンを選択します。MIX ボタンが選択された状態で T バーを手動で動かすか、Auto TRANS ボタンを押すと Mix(ディゾルブ)トランジションでソースが切替わります。



WIPE ボタン

選択されているプログラムソースとプレビューソースをワイプで切替える時に WIPE ボタンを選択します。WIPE ボタンが押された状態で T バーを手動で動かすか、Auto TRANS ボタンを押すと ワイプトランジションでソースが切替わります。ワイプパターンの設定は OSD メニューから行います。

MIX ボタンと WIPE ボタンが同時に選択されているときには、Clip トランジションモードになります。

キーヤー割当てボタン



CHROMA(クロマ)

ボタンを押すと、クロマキーヤーを選択します。



LUMA(ルミナンス)

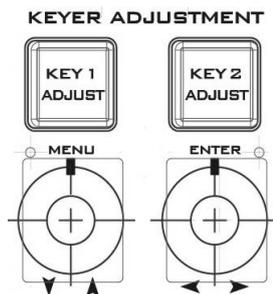
ボタンを押すと、ルミナンスキーヤーを選択します。



LINEAR(リニア)

ボタンを押すと、リニアキーヤーを選択します。

キーヤー調整／メニュー操作



KEYER ADJUSTMENT (キーヤーの調整)

KEY 1 ADJUST ボタン、KEY 2 ADJUST ボタンを押すと、KEY 1、KEY 2 に割当てられているキーヤーの調整を行えます。つまみでキーヤーを微調整します。

OSD MENU (OSD メニュー)

- 左側のプッシュノブ (MENU) を押すと、OSD メニューが表示されます。
- メニューを移動するには、左側のつまみを回します。Main メニューオプションは上下に動きます。
- メニューのオプションを選択するには右側のプッシュノブ (ENTER) を押しします。右側のつまみを回すとサブメニューオプションは左右に動きます。
- サブメニューのオプションを選択するには右側のプッシュノブ (ENTER) を押しします。右側のつまみを回してパラメーターの値を調整します。
- サブメニューオプションを終了するためには、左側のつまみを押しします。

注意: 各メニューの詳細については次項 OSD メニューをご覧ください。

MENU RESET (メニューの初期化)

左側のつまみ (MENU) を 2-3 秒長押しすると、メニューの設定は工場出荷時の初期値に戻ります。

OSD メニュー

SE-1200MU コントロールユニット(RMC-260) はピックアップインピックアップやキーヤー、ダウンストリームキー、スチルなどいくつかのエフェクトを実行するための OSD メニューを備えています。入力と出力のオプションを選択して I/O の構成を変えることもできます。さらに、設定オプションで、メニューの色や大きさ、位置、および、言語を設定することができます。

OSD メニューには基本モードと詳細モードがあり、簡単に両モードを切替えることができます。基本モードは概ね詳細モードを簡略化したメニューになっています。両モードのオプションを説明します。

Start

「Start」オプションはトランジションに要する時間やトランジションの種類、ワイプエフェクトのパラメータを設定することができます。OSD メニューは下の表のように表示されます。

詳細モード

Start	Transition	M/E	60	DSK	60	FTB	60
Keyer	Type	Wipe					
Chroma							
P-in-P	Wipe Effects	Wipe	1	Soft	0%	Width	0%
P-in-P Lite	Border	Luma	100%	Sat	80%	Hue	178
Inputs	Position	X	0%	Y	0%		
Outputs							
Stills	Matte	Luma	100%	Sat	80%	Hue	0
User Mems							
Setup							

基本モード

Start	Transition	M/E	60	DSK	60	FTB	60
Keyer							
Chroma	Wipe Effects	Wipe	1	Soft	0%	Width	0%
P-in-P							
P-in-P Lite							
Inputs							
Outputs							
Stills							
User Mems							
Setup							

Transition

「Transition」(トランジション)オプションで AUTO ボタンや DSK ボタン、FTB ボタンを使用したときにプログラム出力を切替えるためのトランジションの経過時間(フレーム数)を設定できます。サブオプションには、自動切替えのディゾルブエフェクト(M/E)、ダウンストリームキー(DSK)、黒い画面にフェードアウト(FTB)があります。M/E に 50 と設定されていた場合、50 フレーム、およそ 2 秒かけてエフェクトが完了します。AUTO ボタンを押したときに、M/E に設定されている値でトランジションを実行します。

3 種類のトランジション(Type)は Clip(クリップ) / Wipe(ワイプ) / Mix(ディゾルブ)です。

Wipe Effects

「Wipe Effects」(ワイプエフェクト)オプションでは、ワイプパターンおよびボーダーの境界、幅を選択することができます。

- **Wipe (ワイプ)**- ワイプパターンを選択します。
- **Soft (境界)**- 小さな値にするとボーダーの境界ははっきりし、大きな値にするとボーダーの境界はぼやけます。
- **Width (幅)**- 小さな値にするとボーダーの幅が狭くなり、大きな値にするとボーダーの幅が広くなります。

Border

「Border」(ボーダー)オプションを選択すると、ルミナンス(Luma)、サチュレーション(Sat)、ヒュー(Hue)を調整することによって、ワイプボーダーの色を調整できます。

Position

「Position」(ポジション)オプションで、いくつかのワイプ(円や楕円など)の中心の位置を調整できます。Xは水平(横)方向、Yは垂直(縦)方向を表します。

X	Y
正: ワイプの中心を右にします。 負: ワイプの中心を左にします。 ゼロ: ワイプの中心を画面の中央にします。	正: ワイプの中心を上 to します。 負: ワイプの中心を下にします。 ゼロ: ワイプの中心を画面の中央にします。

Matte

「Matte」(マット)サブオプションで、マットのルミナンスおよびサチュレーション、ヒューを設定し、色を調整できます。

Keyer(キーヤー)

このオプションでは4つのキーヤー(Key 1、Key 2、DSK 1、DSK 2)を設定します。

詳細モード / 基本モード

Start	Keyer	Key 1			
Keyer					
Chroma	Keyer Ctrl	Chroma	P-in-P	Priority	Bot
P-in-P		Lift 0%	Gain 1.0	Opac	100%
P-in-P Lite	Key Source	Input 1	Fill Input 3		
Inputs					
Outputs	Mask	Left 0%	Right 0%		
Stills		Top 0%	Bot 0%		
User Mems					
Setup					

Keyer Control キーヤーコントロール

キーイングモードは、Linear(リニアキー)、Luma(ルミナンスキー)、Chroma(クロマキー)の3種類用意されています。

キーイングモードを選択後、キー用のソースが1つ(Key ソース)の場合は Self を選択します。キー用のソースが2つ(Key ソースと Fill ソース)の場合は Split を選択します。また、キーエフェクトとしてピクチャーインピクチャーウィンドウを使う場合は、P-in-P(ピクチャーインピクチャー)、または、P-in-P Lite(ピクチャーインピクチャーライト)を選択できます。

注意:

Luma(ルミナンスキー)が選択されている場合は、Keyer オプションのルミナンスキーヤーのパラメーター(Lift、Gain、Opac)を調整します。

Chroma(クロマキー)が選択されている場合は、Chroma オプションのクロマキーヤーのパラメーターを調整します。

P-in-P(ピクチャーインピクチャー)が選択されている場合は、P-in-P オプションのパラメーターを調整します。

P-in-P Lite(ピクチャーインピクチャーライト)が選択されている場合は、P-in-P Lite オプションのパラメーターを調整します。

例えば、Key 1 → Chroma → P-in-P と選択した場合、Chroma オプションで一致するクロマキーヤーのパラメーター調整した後、P-in-P の画像をクロマキーで抜きます。

Priority(優先度)ではキーとなる画像をトップレイヤー(最前面)、または、ボトムレイヤー(最背面)として設定します。ただし、Key 1、または、Key 2 が選択されている場合に限りです。

キーヤーコントロールはキー画像のリフト、および、ゲイン、透過度を調整します。

Lift(リフト)は、キー画像の暗い／黒い部分を調整します。

Gain(ゲイン)は、キー画像の明るい／白い部分を調整します。

Opacity(透過度)は、前面のキー画像全体の透過度を調整します。

Key Source (キーソース)

このサブオプションではキーソースを割当てます。キーソースには次の選択肢があります。キー信号が入力されているソースを選択します。

Bars	Matte	Input6	Input5	Input4	Input3	Input2	Input1	Black
------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------

Fill Source (フィルソース)

Split(別々)が選択されている場合、このサブオプションではフィルソースを割当てます。次の選択肢があります。フィル信号が入力されているソースを選択します。

Bars	Matte	Input6	Input5	Input4	Input3	Input2	Input1	Black
------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------

Mask (マスク)

マスク機能ではクロマキー、ルミナンスキー、リニアキーのマスクを設定できます。

- Left(左) - キーヤーのマスクの左端を設定します。
- Right(右) - キーヤーのマスクの右端を設定します。
- Top(上) - キーヤーのマスクの上端を設定します。
- Bottom(下) - キーヤーのマスクの下端を設定します。

Chroma (クロマ)

このオプションでは、グリーンバックのクロマキーに必要なパラメーターが揃っています。

詳細モード/基本モード

Start	Keyer	Key 1			
Keyer	Key Source	Input 5			
Chroma					
P-in-P	CK Setup	CK Auto	Hue	120	Luma 100%
P-in-P Lite		KRange 170	K Fgnd	15%	K Bgnd 67%
Inputs		Hi-Light 0%	Lo-Light	0%	Bg-Supp On
Outputs					
Stills	Mask	Left 0%	Right	0%	
User Mems		Top 0%	Bot	0%	
Setup					

Keyer (キーヤー)

まず、Keyer を選択します。クロマキーヤー(Key 1、または、Key 2)を選択後、キーソースを選択します。キーソースとして下表の中の1つを選択できます。

Bars	Matte	Input6	Input5	Input4	Input3	Input2	Input1	Black
------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------

CK Setup(クロマキーの設定)

このサブオプションでクロマキーヤーの様々なパラメーターを微調整できます。

CK Auto(クロマキー自動調整): この機能は選択されているキーソースのヒュー(Hue)とルミナンス(Luma)の最適値を計算します。

Hue(ヒュー): このパラメーターはクロマキーの色を調整します。一般的にグリーンバックの場合はおよそ 120。ブルーバックはおよそ 240 です。

Luma(ルミナンス): このパラメーターはクロマキーのルミナンスの値を調整します。

Key Range(キー範囲)(KRange): キー範囲では、キーイングする背景色に近いヒュー、または、色の範囲(0~360 度)を設定します。120 度から始めて微調整します。調整する値を上げるか下げるかについては、グリーンバックやブルーバックスタジオの設定に依存します。

Key Foreground(キーの前景調整)(K Fgnd): キーの前景調整は、クロマキーの暗い／黒い部分を調整します。暗い部分が抜けすぎている場合に値を増やします。

Key Background(キーの背景調整)(K Bgnd): キーの背景調整は、クロマキーの明るい／白い部分を調整します。明るい部分が抜けすぎている場合に値を増やします。

Hi-Light(ハイライト): ハイライトは、ルミナンスが高い部分の前景キーのレベルを持上げます。

Lo-Light(ローライト): ローライトは、ルミナンスが低い部分の前景キーのレベルを持上げます。

Bg-Supp(背景の除去): 背景の除去は最終画像から背景のルミナンス(ブライトネス)を取除きます。Bg-Supp(背景の除去)は背景の除去のオンとオフを切替えます。

Mask(マスク)

マスク機能はクロマキーモードのマスクを設定できます。

- Left(左) - クロマキーヤーのマスクの左端を設定します。
- Right(右) - クロマキーヤーのマスクの右端を設定します。
- Top(上) - クロマキーヤーのマスクの上端を設定します。
- Bottom(下) - クロマキーヤーのマスクの下端を設定します。

P-in-P(ピクチャーインピクチャー)

P-in-P オプションでは、ピクチャーインピクチャーに関するパラメーターを調整できます。Keyer オプションで P-in-P を選択しているときに、このオプションが選択できます。「P-in-P Src」サブオプションはピクチャーインピクチャー用のキーヤーが使えることを表します。下の例は、Key 1 のキーエフェクトをピクチャーインピクチャーウィンドウに適用します。

詳細モード／基本モード

Start	P-in-P Src	Key 1				
Keyer	Position	X	20%	Y	10%	Size 50%
Chroma	Border	Luma	0%	Sat	0%	Hue 0
P-in-P		Width	0%			
P-in-P Lite						
Inputs	Crop	Left	0%	Right	0%	Size 0%
Outputs		Top	0%	Bot	0%	
Stills						
User Mems						
Setup						

Position(位置)

X は水平(横)方向の位置、Y は垂直(縦)方向の位置、Size は P-in-P ウィンドウの大きさを調整できます。

X	Y	Size
正: P-in-P ウィンドウを右に移動します。 負: P-in-P ウィンドウを左に移動します。 ゼロ: P-in-P ウィンドウを中央に移動します。	正: P-in-P ウィンドウを上移動します。 負: P-in-P ウィンドウを下移動します。 ゼロ: P-in-P ウィンドウを中央に移動します。	0 から 100 の範囲。1% が最小になり 100 は最大になります。したがって、50%は背景の半分の大きさになります。片側に寄せない限り 100%にすると PIP の画像が背景を完全に覆ってしまいます。

Border(ボーダー)

P-in-P ウィンドウのボーダーの色は Luma(ルミネンス)、および、 Saturation(サチュレーション) 、 Hue(ヒュー)の値を調整することにより設定します。

Border Width(ボーダーの幅)

「Width」サブオプションはボーダーの幅を調整します。値を 0 にすると P-in-P ウィンドウのボーダーはなくなります。

Crop クロップ(切抜き)

P-in-P ウィンドウのクロップ(切抜き)は次のパラメーターを変更して調整します。

- Left(左) - ウィンドウの左端の位置を調整します。
- Right(右) - P-in-P ウィンドウの右端の位置を調整します。

- **Size(大きさ)** - P-in-P ウィンドウを切抜く大きさを調整します。
- **Top(上)** - P-in-P ウィンドウの上端の位置を調整します。
- **Bot(下)** - P-in-P ウィンドウの下端の位置を調整します。

P-in-P Lite(ピクチャーインピクチャーライト)

P-in-P Lite オプションは、ピクチャーインピクチャーに関するパラメーターを調整できます。ただし、垂直(縦)方向の位置と P-in-P ウィンドウサイズ(大きさ)は調整できません。Keyer オプションの P-in-P Lite を選択しているときに、このオプションが選択できます。下の例は、Key 1 のキーエフェクトを P-in-P ウィンドウに適用します。

詳細モード／基本モード

Start	P-in-P Keyer	Key 1				
Keyer	Position	X	-22%			
Chroma	Border	Luma	100%	Sat	80%	Hue 0
P-in-P		Width	2%			
P-in-P Lite						
Inputs	Crop	Left	32%	Right	22%	Size 0%
Outputs		Top	2%	Bot	24%	
Stills						
User Mems						
Setup						

Position(位置)

P-in-P ウィンドウの X の値を調整し、水平(横)方向の位置を調整できます。

- 正の値にするとウィンドウを右に移動します。
- 負の値にするとウィンドウを左に移動します。
- 値をゼロにするとウィンドウを中央に移動します。

Border(ボーダー)

P-in-P ウィンドウのボーダーの色は Luma(ルミネンス)、および、 Saturation(サチュレーション)、 Hue(ヒュー)の値を調整することにより設定します。

Border Width ボーダーの幅

「Width」サブオプションはボーダーの幅を調整します。値を 0 にすると P-in-P ウィンドウのボーダーはなくなります。

Crop クロップ(切抜き)

P-in-P ウィンドウのクロップ(切抜き)は次のパラメーターを変更して調整します。

- **Left(左)** - P-in-P ウィンドウの左端の位置を調整します。
- **Right(右)** - P-in-P ウィンドウの右端の位置を調整します。
- **Size(大きさ)** - P-in-P ウィンドウを切抜く大きさを調整します。

- **Top(上)** - P-in-P ウィンドウの上端の位置を調整します。
- **Bot(下)** - P-in-P ウィンドウの下端の位置を調整します。

Inputs(入力)

この機能では入力 1 から入力 4 の色味を設定する事ができます。さらに、入力 1 から入力 6 を入れ替えたり(クロスポイント)、入力をオフにしたりすることができます。

詳細モード

Start	Input 1	Black	0%	White	100%	Chrom	1.0
Keyer	Input 2	Black	0%	White	100%	Chrom	1.0
Chroma	Input 3	Black	0%	White	100%	Chrom	1.0
P-in-P	Input 4	Black	0%	White	100%	Chrom	1.0
P-in-P Lite							
Inputs	Freeze	1	Still	2	Live	3	Still
Outputs		4	Still	5	Still	6	Live
Stills							
User Mems	Crosspoint	1	Input 1	2	Input 2	3	Input 3
Setup		4	Input 4	5	Input 5	6	Input 6

基本モード

Start	Freeze	1	Still	2	Live	3	Still
Keyer		4	Still	5	Still	6	Live
Chroma							
P-in-P	Crosspoint	1	Input 1	2	Input 2	3	Input 3
P-in-P Lite		4	Input 4	5	Input 5	6	Input 6
Inputs							
Outputs							
Stills							
User Mems							
Setup							

Input 1-4 入力 1-4

入力 1~入力 4 の各入力信号に対して黒のレベル、白のクリップ、クロマのゲインなどを調整することができます。

Freeze(フリーズ)

「Freeze(フリーズ)」は以下の4種類のソースの中から Inputs 1- Inputs 6(入力1~入力6)に画像を読み込みます:

- Live(ライブ): 選択された入力の信号から映像をそのまま使用します。
- Freeze(フリーズ): 選択された入力の信号から現在のフレームをフリーズします。
- Still(スチル): SE-1200MU 本体内に保存されている静止画を読み込みます。
- Clip(クリップ): SE-1200MU 本体内に保存されている静止画を読み込みます。
(注: RMC-260 では SE-1200MU 本体に保存されている Clip の指定はできません。
SE-1200MU を RMC-260 のみで使用する場合は Still の使用を推奨します)

Crosspoint(クロスポイント)

クロスポイントでは入力1から入力6間でコンテンツを入れ替えることができます。つまり、プログラムソース、プレビューソースの6個の入力ボタン(1、2、3、4、5、6)に入力1から入力6の入力ソースを好きなように割当てることができます。

Outputs(出力)

このオプションでは映像出力、音声出力、GPI出力など様々な出力の設定をすることができます。

詳細モード

Start	Output	Sdi 1	Pgm	Sdi 2	Input 2	HDMI	MultiV
Keyer						HDMI	1080P
Chroma	Audio	Mode	On	Level	Auto		
P-in-P		Sdi 1	On	Sdi 2	On	HDMI	On
P-in-P Lite							
Inputs	GPI Out	Off		Mode	Pulse	Width	1
Outputs		Input 1		Delay	0		
Stills							
User Mems	MultiViewer	AutoNum	Off	Label Inf	Off	Trns Lab	Off
Setup							

基本モード

Start	Output	Sdi 1	Pgm	Sdi 2	Input 2	HDMI	MultiV
Keyer						HDMI	1080P
Chroma	Audio	Mode	On	Level	Auto		
P-in-P		Sdi 1	On	Sdi 2	On	HDMI	On
P-in-P Lite							
Inputs							
Outputs							
Stills							
User Mems							
Setup							

Outputs (出力)

SE-1200MU の出力端子は 3 個 (SDI 1、SDI 2、HDMI1) あります。

それぞれに以下のソースを出力として設定できます：

- Input 6 入力 6
- Input 5 入力 5
- Input 4 入力 4
- Input 3 入力 3
- Input 2 入力 2
- Input 1 入力 1
- CLN PVW (Clean PVW) クリーンプレビュー出力
- CLN PGM (Clean PGM) クリーンプログラム出力
- PG + DSK プログラム出力+ ダウンストリームキー
- PVW プレビュー出力
- PGM プログラム出力
- MultiV (Multi view) マルチビュー

出力ソースの選択に加えて HDM 出力端子は 1080i もしくは 1080p の出力フォーマットを選択できます。
(システム映像フォーマットが 1080i の場合のみ、720p の場合は HDMI 出力も 720p 固定)

HDMI 出力を 1080i に設定した場合、一部の PC 用モニターではオーバースキャンにより映像が引き延ばされたり左右にシフトしたりする場合がありますので、その場合には 1080p の選択を推奨します。

Audio (音声)

SDI 出力、および、HDMI 出力の音声サブオプションでは、SDI1 出力、SDI2 出力、HDMI 出力のエンベデッドオーディオ出力を個別にオンまたはオフにできます。

Mode (On/Off) : SE-1200MU はリアパネルのアナログ音声 (XLR) 入力を使用して外部から音声を入力できます。SE-1200MU と一緒にマスター音声ミキサーを使用することが理想的です。Audio (音声) サブオプションを ON (オン) から OFF (オフ) に変更することによって外部のマスター音声ミキサーからの XLR 音声入力をミュート (消音) することができます。

Level (EBU/SMPTE/AUTO) (レベル (EBU/SMPTE/自動)) : SMPTE または EBU のどちらかの規格を選択できます。AUTO (自動) を選択することにより、音声規格を自動検知させることも可能です。

GPI Out (GPI 出力)

このオプションでは GPI の設定をすることができます。GPI をオンにした後、GPI の mode (モード) を選択します。Level (レベル) モード、または、pulse (パルス) モードのどちらかです。パルス幅はサブオプション Width (幅) (1~9) で設定します。GPI 出力は入力 1~入力 6 のいずれか 1 つに割当てることが可能で、delay (遅延時間) を 1~ 99 に設定します。この機能は Datavideo 社の NVP-20 や HRS-30 などの外部接続している再生用機器を再生するトリガーとして使用します。

Multiviewer(マルチビューワー)

AutoNum(自動採番): マルチビューワーウィンドウは自動的に採番されます。このサブオプションでは自動採番のオンとオフを切替えます。

Label Inf(ラベル情報): このサブオプションではラベル情報のオンとオフを切替えます。入力ラベルはstill(スチル)やlive(ライブ)、Freeze(フリーズ)のような情報です。

Trns Lab(ラベル透過): このサブオプションではラベルの透過のオンとオフを切替えます。いったん有効にすると、ラベルの背景は単色から透明に変わります。

Stills スチル(静止画像)

SE-1200MU 本体内蔵メモリから画像を読込んだり、SE-1200MU 本体内蔵メモリに画像を保存します。また、ライブから取込んだフリーズ画像も保存できます。

詳細モード

Start	Load Still	Load	Still Num 13	Input 5
Keyer		Thumbnail Picture - 1	Thumbnail Picture	Thumbnail Picture + 1
Chroma				
P-in-P				
P-in-P Lite	Save Still	Save	Input 5	Still Num 13
Inputs				
Outputs	Freeze	1 Still	2 Live	3 Still
Stills		4 Still	5 Still	6 Live
User Mems				
Setup				

基本モード

Start	Load Still	Load	Still Num 13	Input 5
Keyer		Thumbnail Picture - 1	Thumbnail Picture	Thumbnail Picture + 1
Chroma				
P-in-P				
P-in-P Lite	Save Still	Save	Input 5	Still Num 13
Inputs				
Outputs				
Stills				
User Mems				
Setup				

Load Still(スチル(静止画像)の読込)

「Load Still(スチルの読込)」を選択し、静止画像を読込元のメモリを選択します。次に読込先を指定してスチル(静止画像)を読込みます:

- Input 6 入力 6
- Input 5 入力 5
- Input 4 入力 4
- Input 3 入力 3
- Input 2 入力 2
- Input 1 入力 1

「Load(読込)」を選択すると読込先にスチルを読込みます。

Image Preview is available below the “Load Still” row. “Image Preview - 1” allows the user to preview the previous image, “Image Preview” displays the image that will be loaded when “Load” is selected, and “Image Preview + 1” shows the next image. Image Preview(画像のプレビュー)が「Load Still(スチルの読込)」の下の行にあります。「Image Preview - 1」は 1 つ前の画像をプレビューできます。「Image Preview」は「Load(読込)」を選択したときに読込む画像をプレビューできます。「Image Preview + 1」は次の画像をプレビューできます。

Save Still(スチル(静止画像)の保存)

「Save Still(スチルの保存)」は、スチルを指定したメモリに保存します。あらかじめ保存するスチルのソースを指定しておきます。次のソースからスチルを保存します。

- Input 6 入力 6
- Input 5 入力 5
- Input 4 入力 4
- Input 3 入力 3
- Input 2 入力 2
- Input 1 入力 1

保存を完了するには、保存先のメモリを決めた後、「Save(保存)」を選択します。

Freeze(フリーズ)

「Freeze(フリーズ)」は次の 4 種類のソースのいずれかの画像を Inputs 1(入力 1)～ Inputs 6(入力 6)に読込みます。

- Live(ライブ): 選択された入力の信号から映像をそのまま使用します。
- Freeze(フリーズ): 選択された入力の信号から現在のフレームをフリーズします。
- Still(スチル): SE-1200MU 本体内に保存されている静止画を読み込みます。
- Clip(クリップ): SE-1200MU 本体内に保存されている静止画を読み込みます。
(注: RMC-260 では SE-1200MU 本体に保存されている Clip の指定はできません。
SE-1200MU を RMC-260 のみで使用する場合は Still の使用を推奨します)

User Mems(ユーザーメモリー)

このオプションでは保存してある設定の**読込**や、現在の設定を**保存**することができます。

詳細モード／基本モード

Start	Load Mem	Memory	1	Load	
Keyer					
Chroma	Save Mem	Memory	1	Save	
P-in-P					
P-in-P Lite	Load Clip	Load	Clip	1	
Inputs					
Outputs					
Stills					
User Mems		Clear Clip			
Setup					

Load Memory(メモリから読込)

プッシュノブを回してスクロールしメモリ番号(1~999)を選択し、「Load(読込)」を選択すると保存されている設定を読込みます。コントロールパネルのユーザーメモリーショートカットボタン(USER 1~USER 9)の1つを押すと、前に保存したユーザー設定をすばやく読込ことができます。

Save Memory(メモリへ保存)

プッシュノブを回してスクロールしメモリ番号を選択し、「Save(保存)」を選択すると設定を保存します。

Load Clip(クリップを読込)

プッシュノブを回してスクロールしクリップ番号を選択し、「Load(読込)」を選択すると選択したクリップが読み込まれます。読み込んだクリップはトランジションとして使用する事ができます。トランジションとしてクリップを使用するには、OSD メニューの「Start」⇒「Type」で「Clip」を選択する(本書 14 ページ参照)か、RMC-260 フロントパネルで MIX ボタンと WIPE ボタンを同時に押して Clip トランジションモードに切り替え(本書 12 ページ参照)ます。

ユーザーが作成したステインガーアニメーションを Clip として SE-1200MU 本体に転送するには、SE-1200MU を PC と接続し SE-1200MU コントロールソフトウェアを使用してインポートする必要があります。詳細な手順については、SE-1200MU 取扱説明書 6.3.4 項もしくは 7.5 項をご参照ください。

Clear Clip(クリップをクリア)

現在読み込まれているクリップをクリアします。

Setup (設定)

「Setup (設定)」メニューでは、resolution (解像度) の変更やフルメニューと簡易メニューの切り替え、menu preferences (メニュー属性) の調整、Auto Save (自動保存) の有効/無効、設定を Factory Default (工場出荷時の初期値) への変更 (初期化)、OSD メニューの language (言語) の選択、upgrade firmware (ファームウェアの更新)、current firmware versions (現在のファームウェアのバージョン) (Interface (インターフェース) や Mainboard (メインボード)、Keyboard (キーボード)) の確認などができます。

Start	Standard	1080i/59.94	Save Setup	
Keyer	Menu Mode	Advanced		
Chroma	Menu Pref	Blue	Transp 1	Size Normal
P-in-P	Menu Pos	Centre		
P-in-P Lite				
Inputs	Auto Save	On		
Outputs	Factory Def	Reset	Reset Names	
Stills	Language	English		
User Mems				
Setup		S/W: v1.2.2.8	F/W: 2016-03-15	KBD: v2.26

Menu Preference (メニュー属性)

メニュー属性では、メニューの色や透明度、大きさ、表示する位置などを設定することができます。

Menu color (メニューの色): blue (青)、または、grey (灰色) を選択できます。

Menu Transparency (メニューの透明度) には次の選択肢があります。

0: 不透明

1: 背景は 50% 透過 (ボタンは不透過)

2: すべて 50% 透過

Menu Size (メニューの大きさ)

メニューの大きさには次の選択肢があります。

1. Normal (通常)

2. Small (1080i Mode) (小 (1080i モード))

3. Large (720p Mode) (大 (720p モード))

Menu Position (メニューの位置)

Menu Position (メニューの位置) ではメニューを表示する画面上の位置を選択できます。選択肢は Centre (中央)、Top (上)、Left (左)、Right (右)、Bottom (下) です。

Standard (映像フォーマット)

このオプションでは 1080i/59.94 のような出力解像度を選択します。選択したら出力解像度を確認するために「Save Setup (設定の保存)」を選択します。選択できる解像度は 1080i/50/59.94/60、720p/60/59.94/50 です。

Menu Mode (メニューモード)

メニューの詳細モードと基本モードを切替えることができます。詳細モードを仕様する場合は「Advanced」、基本モードを使用する場合は「Basic」を選択します。

Auto Save (自動保存)

有効になっていると、シャットダウンする前に最後の設定が自動的に保存されます。次に起動したときには自動的に最後の設定を読み込みます。さらに、Still Load (スチルの読込)を行ったときには設定を自動的に保存します。

Factory Default (工場出荷時の初期値)

Reset (初期化): このオプションは工場出荷時の初期状態に設定を初期化します。初期値はメモリーポイント 0 から読み込み、**Setup (設定)** オプションを除いたすべての設定オプションを初期化します。

Reset Names (名前の初期化)

マルチビューワーのラベル (入力 1 ~ 入力 6) を工場出荷時の初期設定に戻します。

Language (言語)

OSD メニューの言語は English (英語)、Traditional Chinese (繁体字中国語)、Simplified Chinese (簡体字中国語) の中から選択できます。

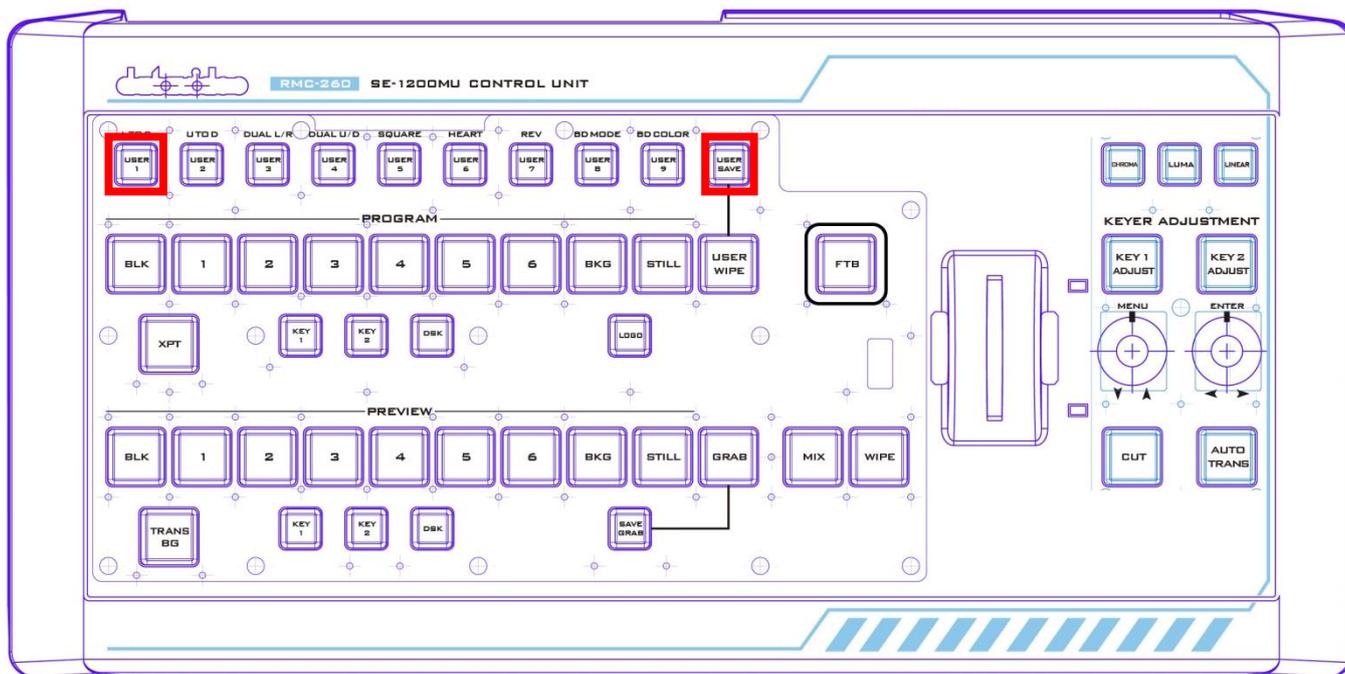
Software (ソフトウェア)

最新のファームウェアのバージョン情報を確認できます。

設定／デバッグモード

設定／デバッグモードの開始

RMC-260 の電源が OFF になっている状態で **USER 1** ボタンと **USER SAVE** ボタンを同時に押しながら電源スイッチを ON にします。各ボタンの LED が点滅した後すべて白色に戻り、**USER 1** ボタンが赤色に点灯するまで **USER 1** と **USER SAVE** ボタンを押したまま待ちます。**USER 1** ボタンが赤色に変わったら **USER 1** と **USER SAVE** ボタンを離して、設定／デバッグモードが有効になります。



設定／デバッグモード機能の選択

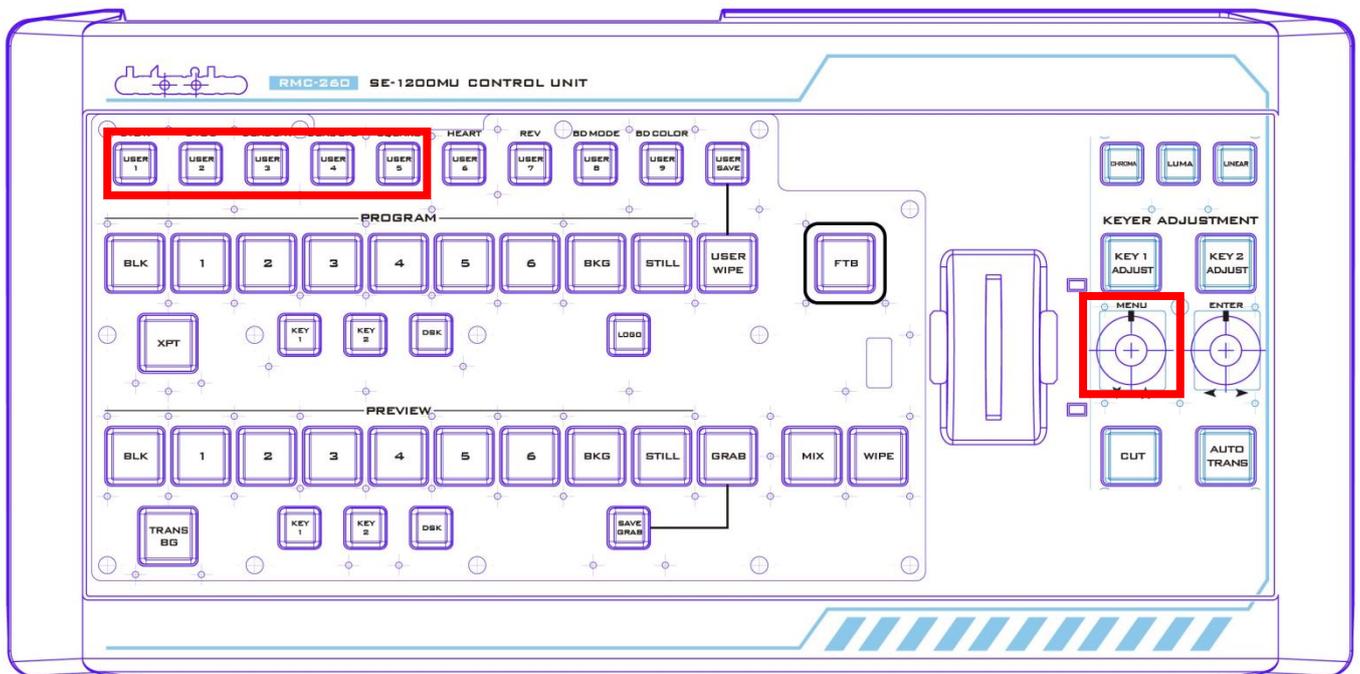
KEY1 ADJUST ボタンの下の MENU つまみを回すと USER 1～USER 5 (F1～F5) ボタンが順に切替わりっていきます。また、USER 1～USER 5 ボタンは一度に1つずつ赤くなります。

メニュー機能に移る場合は、MENU プッシュノブを押します。

メニュー機能を終了する場合は、再度 MENU プッシュノブを押します。

機能は次のとおりです。

- USER 1 - バージョン情報の表示
- USER 2 - LED の輝度の調整と保存
- USER 3 - ボタンの機能検査
- USER 4 - T バーとプッシュノブの機能検査
- USER 5 - 設定とデバッグモードの終了

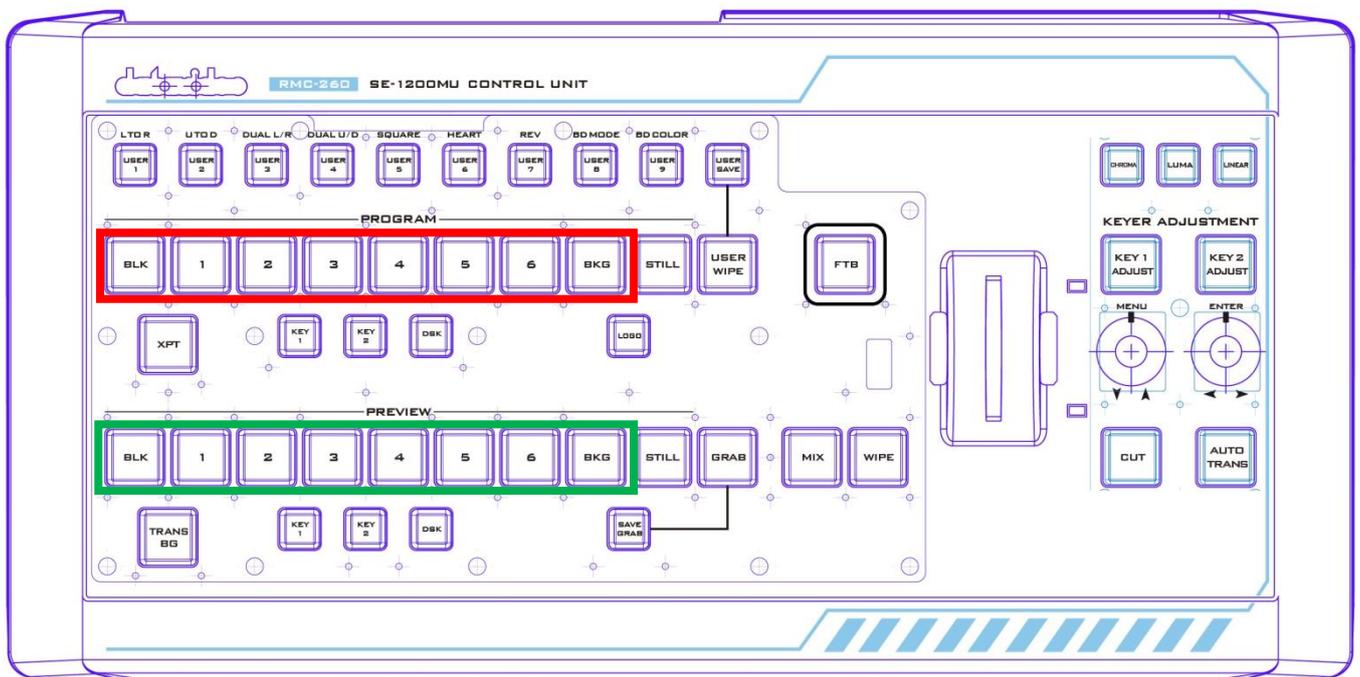


USER 1 - バージョン情報の表示

MENU プッシュノブを押して USER 1 ボタンを選択すると、PROGRAM のボタンがいくつか赤色に点灯し、PREVIEW のボタンがいくつか緑色に点灯します。点灯状態によって現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

バージョンは 16 進数 (HEX 形式) で表示されます。PROGRAM の 8 個のボタンがメジャーのバージョンを表し、PREVIEW の 8 個のボタンはマイナーのバージョンを表します。BLK が MSB (最上位ビット) を表し、BKG が LSB (最下位ビット) を表します。

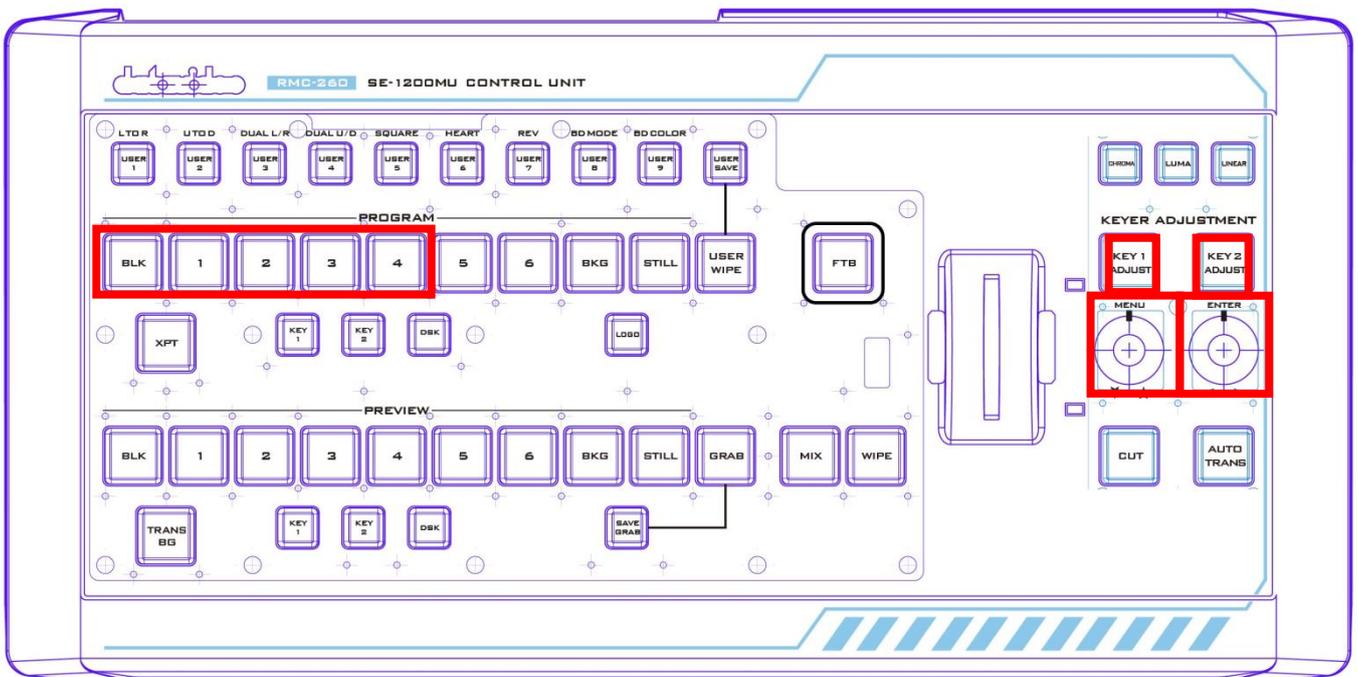
Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0
BLK	1	2	3	4	5	6	BKG



USER 2 – LED の輝度の調整と保存

各ボタンの LED の輝度を調整するには、MENU つまみを押して USER 2 ボタンを選択します。USER 2 ボタンが選択された直後に、以前の輝度設定に応じて PROGRAM の BLK ボタン、1 ボタン、2 ボタン、3 ボタン、4 ボタンの一部または全部が赤色に変わります。

- **MENU ノブ** – 左右に回して LED の輝度を調整します。右に回すと明るくなり、左にまわすと暗くなります。PROGRAM の 4 ボタンが点灯している場合が最も明るい状態です。
- **ENTER ノブ** – 押して現在の輝度の設定を保存します。つまみを押すと KEY 2 ADJUST ボタンが赤く点滅します。設定が保存されると、KEY 2 ADJUST ボタンは赤色の点灯状態に変わります。
- **KEY2 Adjust ボタン** – 赤色に点滅している時は保存が進行中であることを表し、赤色に点灯している時は輝度レベルが正常に保存されたことを表します。
- PROGRAM の BLK/1/2/3/4 ボタンによって LED の輝度レベルを表します。



USER 3 – ボタンの機能検査

MENU つまみを押して USER 3 ボタンを選択し、ボタンの機能検査を行います。

このモードに入ると、全てのボタンが白く点灯します。その状態でボタンを押すと、正常に入力を受け付けたボタンは赤または緑に点灯します。

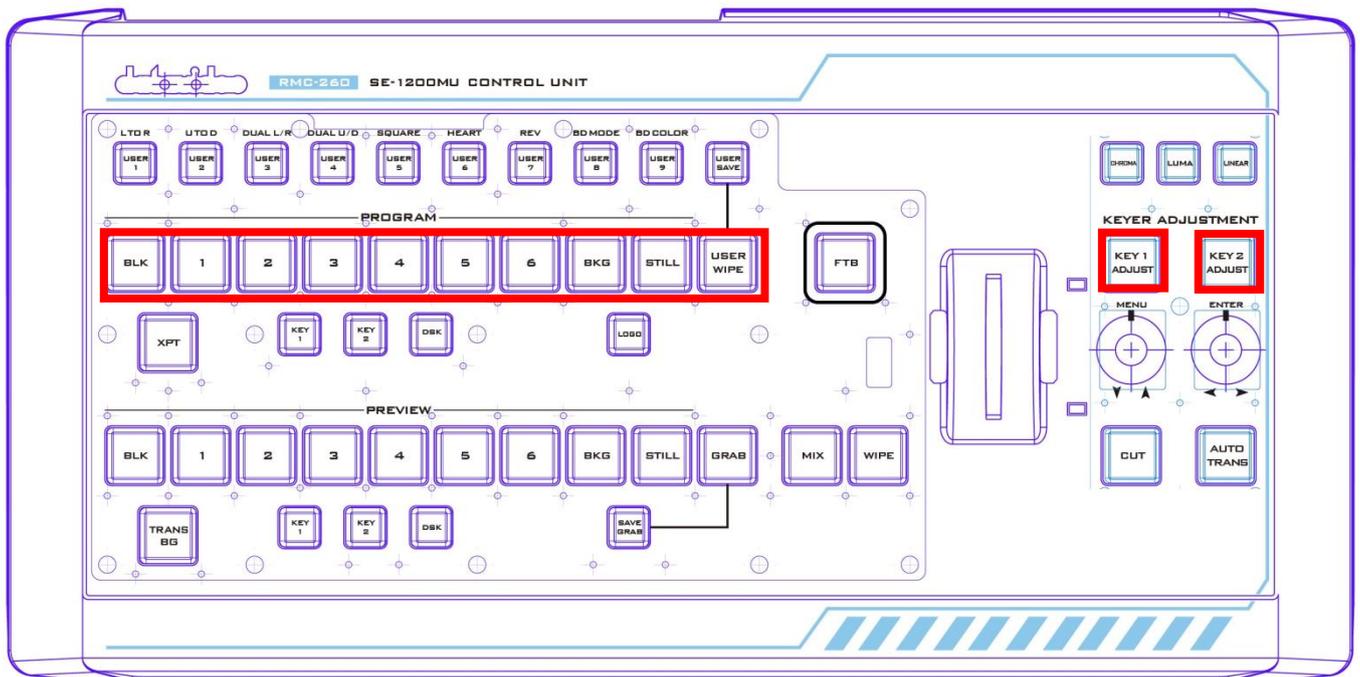
これらの点灯状態を確認する事により、各ボタンが正常に動作しているか確認する事ができます。

USER 4 - Tバーとプッシュノブの機能検査

MENU プッシュノブを押して USER 4 ボタンを選択し、Tバーとつまみの機能検査を行います。

PROGRAM の BLK/1/2/3/4/5/6/BKG/STILL/USER WIPE ボタンによって Tバーの位置を表します。Tバーを操作すると PROGRAM の該当するボタンの LED が点灯したり、消灯します。

KEY 1 ADJUST/KEY 2 ADJUST ボタンの LED は、MENU/Enter プッシュノブの動作を表します。各プッシュノブを右に回すと KEY 2 ADJUST ボタンが赤く点灯し、各プッシュノブを左に回すと、KEY 1 ADJUST ボタンが赤く点灯します。



USER 5 - 設定／デバッグモードの終了

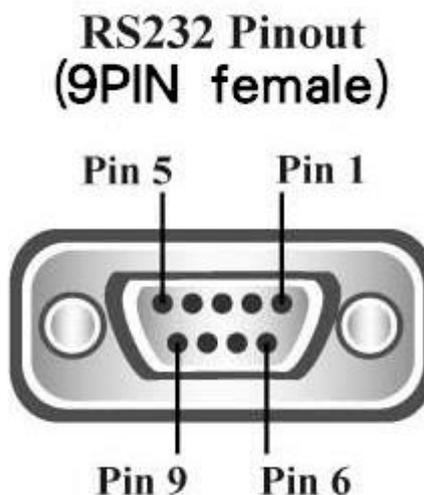
設定／デバッグモードを終了するには、MENU つまみを押して USER 5 ボタンを選択します。

RS-232 のピンアサイン

ピン出力

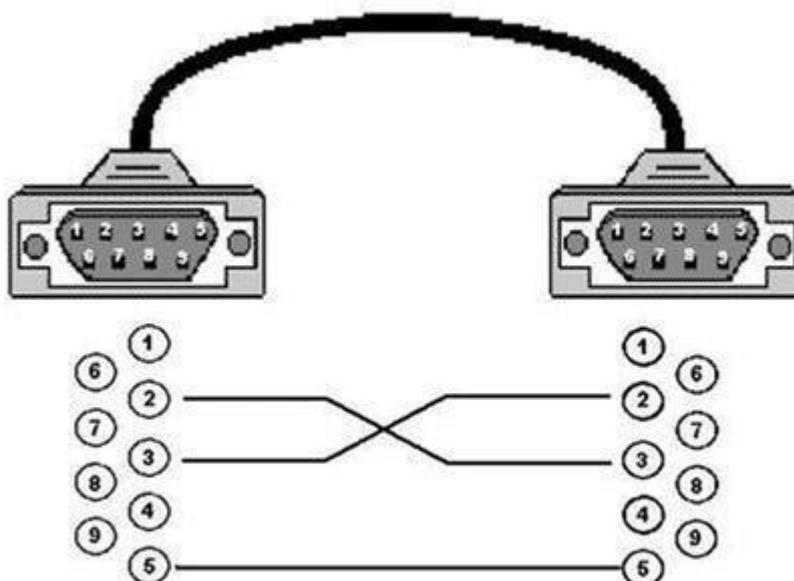
デバイス側の RS-232 のピンアサインは以下の通りです。

Pin 1	N/C
Pin 2	TXD
Pin 3	RXD
Pin 4	N/C
Pin 5	GND
Pin 6	N/C
Pin 7	N/C
Pin 8	N/C
Pin 9	N/C



ケーブルの接続

RMC-260 と SE-1200 MU は RS-232 ケーブルで接続します。オス対オスのコネクタを使用し、ケーブルは下図に示す配線方式で接続します。



注意: RMC-260 の電源を入れた後、すべてのボタンの白色の LED が点灯します。RS-232 の接続が確立されると、ボタンはその状態を表す色の LED が点灯します。RS-232 接続が切断された後、RMC-260 のボタンが白色に戻るまでに約 2~3 秒かかります。

ファームウェアの更新

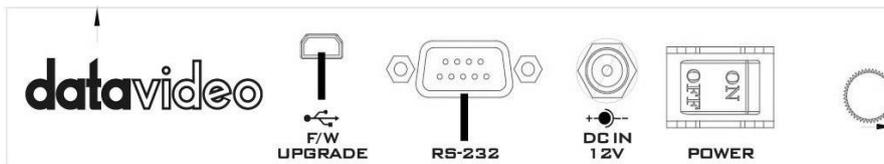
随時、datavideo は新しいファームウェアをリリースして、SE-1200MU に新たな機能を追加したり、報告されたバグを修正したりすることがあります。必要に応じてファームウェアを更新することができます。ファームウェアの更新情報や入手方法については、お近くの datavideo 製品販売店、もしくは弊社サポート担当にお問い合わせください。

このセクションでは、ファームウェアの更新手順について説明します。完了するまでに数分かかる場合があります。いったん開始した場合、更新プロセスを中断しないでください。中断した場合には、RMC-260 が利用できなくなることがあります。

必要事項

- 最新のファームウェア更新用ファイル(ブートローダーおよびアプリケーションファームウェア)
- 2m 未満の USB ケーブル
- USB 2.0 ポート対応 Windows PC

1. RMC-260 の背面パネルの F/W UPGRADE コネクタに USB ケーブルを接続し、PC と接続します。



2. 電源ケーブルを接続し、RMC-260 の電源を入れます。
3. PC は自動的に RMC-260 を認識します。
4. RMC-260 からファイル(firmware.bin)を削除します。
5. 最新バージョンのファームウェアのファイルを RMC-260 にコピーします。
6. RMC-260 にファイルがコピーされるとファームウェアの更新は完了です。
7. USB 機器の安全な取外しをします。
8. RMC-260 の電源を切ります。
9. RMC-260 と PC を接続している USB ケーブルを取外します。

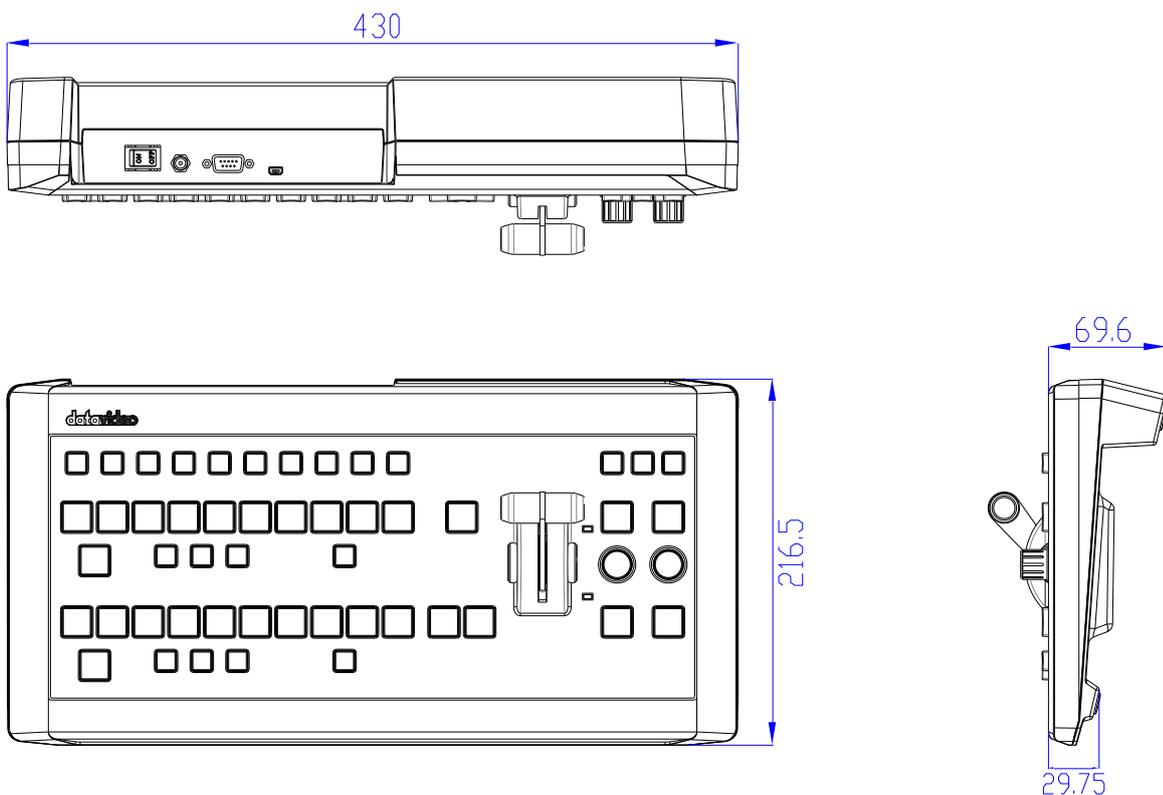
よくあるお問合わせ

RMC-260 を使用しているときに遭遇する問題について記載されています。関連する箇所をお読みになり解決方法にたがってください。問題が解決しなかった場合には、お近くの販売代理店やサービスセンターにご相談ください。

SE-1200MU の電源を入れたまま RS-232 の接続を繰り返していると、SE-1200MU と RMC-260 との間の接続が切断されることがあります。

電源を入れたまま RS-232 接続を頻繁に接続しても、通常は接続が失われません。5~6 回行くと、接続が失われる可能性があります。切断された場合は、約 72 秒間待つと接続が再確立されます。

外形寸法



寸法はすべてミリメートル(mm)

仕様

型番	RMC-260
インターフェース	RS-232 19200bps、ODD
ファームウェア アップデート	USB 端子
動作環境温度	0°C～50°C
動作環境湿度	10%～ 90% (結露なし)
寸法 / 質量	430mm (幅) x 69.6mm (高さ) x 216.5mm (奥行) 突起物含まず 約 1.28 Kg (重量)
電源	DC 12V / 5w
付属品	AC/DC 変換アダプタ DC12V 0.5A ×1 D-Sub 9ピン - D-Sub 9ピンケーブル ×1 取扱説明書 ×1